# 所蔵作品展 十勝讚歌



会期:2015年2月21日(土)~6月28日(日)

休館日:月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌火曜日が休館)

開館時間:3月まで 10:00~16:30 (入館は16:00まで)

4月以降 10:00~17:00 (入館は 16:30 まで)



関口雄揮 記念美術館

#### ※ 学芸員によるギャラリーツアー 随時受付

## 十勝讃歌

関口にとって北海道、とりわけ帯広を中心とした十勝地方の風景は特別な意味を持ちます。若かりし頃、長い混迷に喘ぐ関口に描くべき題材を与え、二度の日展の特選受賞という栄誉をもたらしたのは、まさに十勝の風景でした。また関口雄揮記念美術館の開館を記念して描いた作品や、晩節に体の自由がきかなくなってゆくなかで、最後の大作として描いた作品も、やはり十勝の風景を題材としたものでした。画家としての関口は、常に十勝の風景とともにあったと言っても過言ではありません。

地平線を望む広大な原野、整然と立ち並ぶ防風林、遥か遠方にかすむ山々、そして静かに降り積もる雪。本展では、これら関口に 霊感を与えた十勝の風景をめぐり、関口の十勝への強い愛着と賛 美とをご覧いただきます。



《暮れゆく原野》1984年



《曠野の秋》2006年

#### ◎第2展示室 《北の牧場》と羊のスケッチ

羊は関口が描いた数少ない動物 のうちのひとつです。十勝の牧 場で初めて目にした瞬間その愛 くるしい姿に惚れ込み、頼み込 んで一頭を譲り受け、アトリエ の庭で飼いながら日々スケッチ を続けました。本展ではそうし て描かれたスケッチとともに、 それらのスケッチが結実した大 作《北の牧場》をご紹介します。



羊のスケッチ 1980 年頃

### ◎第3展示室:『トランヴェール』挿絵の原画

1994年4月から翌3月まで、関口は、JR東日本発行の車内誌『トランヴェール』に掲載された随筆に挿絵を提供していました。計12点の挿絵は、多彩な題材を取りあげ、季節感を盛り込みながらときにユーモラスに描かれ、さながら一編の物語絵巻のようです。

掲載誌の展示も同時に行いますので、随筆とあわせてご覧ください。



「一目千本桜」挿絵 1994年

#### ◎お知らせ

#### ●2015年版カレンダーについて

毎年ご好評いただいている当館のオリジナルカレンダー、2015 年版も無料配布中です。

※ 無料は美術館またはカフェご利用のお客様のみ。他は1点100円での販売。

#### ●ボザール橋のご利用について

真駒内川を渡って当館と札幌芸術の森をつなぐ吊り橋「ボザール橋」は、2014年9月の大雨時の崖崩れにより危険な状態と判断され、現在、札幌市によって利用が禁止されております。両施設を行き来される際には芸術の森入口をご経由くださいますよう、お願いいたします。

#### ◎Cafe ボザール

館内併設のカフェ。明るく開放的な空間で、周囲の景色を楽しみながらご 休憩いただけます。カフェのみでもご利用いただけますので、お気軽にお 立ち寄りください。

#### Menu

コーヒー	¥500
ココア	¥600
抹茶	¥600
フルーツハーブティー	¥450
抹茶シフォンケーキ	¥400
アイス3種盛り	¥500
441	



#### ◎ご利用案内

#### 入場料金

		大学			
	大人	専門学校生	中高生	小学生	幼児
通常	¥800	¥600	¥400	¥200	無料
リピーター <sup>※1</sup>	¥600	¥400	¥200	¥100	無料
芸森**2/団体**3	¥700	¥500	¥300	¥100	無料

※1 当館入場券の半券をお持ちの方 ※2 札幌芸術の森美術館の観覧券をお持ちの方 ※3 15 名様以上の団体

敬老優待(要敬老手帳)¥600 障害者優待(要障害者手帳)通常料金の半額 前売り券¥600

#### アクセス

◎地下鉄・バスをご利用のお客様

地下鉄南北線「真駒内」駅バス2番乗り場より 中央バス乗車(約14分)「芸術の森入口」下車 真駒内方面へ徒歩1分

◎お車をご利用のお客様札幌市街中心部より国道 453 号線を南下支笏湖方面へ(約 40 分)専用駐車場あり





### 関口雄揮記念美術館

〒005-0853 札幌市南区常盤3条1丁目(芸術の森入口) TEL 011-593-5050 http://www.sekiguchi-muse.jp/